

第Ⅳ期 第9回 国立天文台科学戦略委員会議事抄録

日時：2025年6月23日（月） 13時00分～13時50分

場所：国立天文台大会議室、Zoom

出席者：

（台外）高田昌広委員（Zoom）、高橋慶太郎委員、濤崎智佳委員（Zoom）、戸谷友則委員（Zoom）、渡邊誠一郎委員（Zoom）

（台内）井口聖委員（Zoom）、生駒大洋委員、齋藤正雄委員、竝木則行委員、藤井友香委員（副委員長）、本原顕太郎委員（委員長）、吉田道利委員

欠席者：

（台外）秋山正幸委員、石原安野委員、堀田英之委員

（台内）都丸隆行委員

陪席：

（台外）運営会議：河野孝太郎委員、住貴宏委員（Zoom）

（台内）土居守台長、堀久仁子特任専門員、金子修研究推進課長、大内香織研究支援係長

1. 確認

1.1 国立天文台科学戦略委員会名簿および出席者確認

本原委員長から、出席者の確認を行った。

1.2 第8回議事抄録の確認

本原委員長から、5月16日に開催された第8回国立天文台科学戦略委員会の議事抄録（案）について説明があり、承認された。

2. 報告と議論

2.1 2025年度将来シンポジウムプログラム素案

本原委員長から、2025年度将来シンポジウムの実施計画及びプログラム案について説明があった。

シンポジウムのSOCの構成について、半数のメンバーは昨年度から継続、サイエンスロードマップ（以下「SRM」）作成担当との役割分担、運営会議との橋渡しのため運営会議委員を務めるSRM委員を加えること、について考慮した案を作成し、次回委員会で決定することとした。

また、プログラム案について意見交換を行い、委員長及び国立天文台執行部で更に具体的な案を作成し、次回以降の委員会で引き続き議論することとした。

（主な意見交換）

ー背景説明に続いて、まずはSRM素案の紹介を行うのが良い。天文学の重要性を説明する冒頭の文章が大事である。

ーSRM素案を事前に提示して、コミュニティと議論する方向に持っていけると良い。

ーセンターに関するセッションは、国立天文台として各センターの将来計画を説明することで、その後の議論での位置付けが分かりやすくなる。

ー各センターの現状と、プロジェクトが期待していることに乖離がある。双方の意見交換により共通理解を生み出すようなセッションにしてはどうか。

ープログラムの全体構成は、SRM 素案を説明し、コミュニティ、各センター、各プロジェクトにそれぞれの立場から意見をもらうという形が良い。

2.2 タウンミーティングプレゼン資料素案

タウンミーティングでのプレゼン資料として、本原委員長から、将来計画策定プロセス、齋藤委員から、実施計画策定手続きについての資料案の説明があり、改訂したものを次回委員会で改めて提示することとした。

また、資料については9月17日開催の運営会議で承認を得たうえでタウンミーティングで説明する旨、アナウンスされた。

(主な意見交換)

ー新規の大規模学術フロンティア推進事業の位置付けは非常に重要である。実施計画策定にどのように組み込んでいこうとしているのかを資料の中で明示的に記載すべきだろう。

以上